

➤ 踏切拡幅

課題	・ 踏切部で歩行者と車両が錯綜する。
対策内容	踏切部の拡幅により踏切内に歩行者と車両を分離した歩行空間を整備する。 （遮断機、一部縁石による物理的分離、ラインやカラー舗装による視覚的分離）
効果	歩行者と車両を分離することで歩行者が車両と接触する危険性が減少し、歩行者の安心感が高まる。

踏切部拡幅による歩道整備（京都府）

○対策前



- ・ 前後道路に比べて踏切部の幅員が狭く、歩道が設置されていないため危険

○対策後



- ・ 踏切拡幅による歩道の設置

踏切部拡幅による歩道整備（鹿児島県 湧水町^{ゆうすいちょう}）

○対策前



- ・ 踏切内に歩道が設置されていないため危険

○対策後



- ・ 踏切の拡幅を行い、歩道を設置